

記念事業「ロータリー100年の森林（もり）」を創造

60クラブ・「世界遺産・高野参詣道」の玄関口にー

第2640地区（大阪南部・和歌山全県）では、2003～04年前窪貫志ガバナーと2004～05年中島治一郎ガバナーは、密接・用意周到な計画のもとに、2年にまたがる「三つの100周年記念プロジェクト」を立ち上げました。

このうち二つはこれからが本番ですが、いま一つ「ロータリー100年の森林」プロジェクトは、60クラブのすさまじい情熱で早や目標の半ばを越え、いよいよ仕上げに向かう段階にあります。

その活動の経緯と現在までのあらましを、ここに紹介いたします。

1. 二年にまたがる「三つの100周年記念テーマ」

いま、地区内全クラブは、力点の置き方に差異こそあれそれぞれ次のプロジェクトに焦点をあわせて活動中です。

(1)「101委員会」結成と活性化運動

前窪ガバナーが提案し、昨年中島現ガバナーを委員長として、全クラブに「101委員会」が結成されました。目的は「ロータリー及びクラブを振り返り・反省し、心新たに新世紀に足を踏み出そう」ということにあります。既に3回「会員減少の真因」「出席率の低下」「ロータリーとは何か」「例会はいかにあるべきか」等が全体討議で話合われました。また地区大会には国際協議会研修リーダー黒田・藤川・上野PDG三氏をお招きして、パネル・ディスカッションをもち、IMでも取り上げる等、あらゆる機会に議論が始まっています。

(2)ローカル・ニーズによる記念事業の計画と実践

各クラブが、全く自発的に、地域ニーズに基づいて立案し、本年中に実施するものです。RIに公式に届けられたプロジェクトは18ですが、殆んどのクラブで、独自の新しい事業が実践される予定です。

(3)「ロータリー100年の森林」事業の推進

世界遺産に新規登録された高野・熊野の景観創造を支援し、未来への遺産を残そうと企画された大型事業です。

60クラブが自主的にR Iに登録し、5月9日第一回植樹祭が挙行されました。ダイナミックな行動と早いペースで、規模も期待予想を上回りそうです。まだ継続中ですが、全貌も明らかになって参りましたので、その活動内容をご紹介します。

2. 「ロータリー100年の森林」記念事業のあらまし

このプロジェクトは、前窪直前ガバナーが、就任前から構想を練り、社会奉仕・環境保全委員会の合同企画として、一色武彦・松田洪毅両地区委員長に託して推進され今期中島ガバナーに引き継がれているものです。

15年4月地区協議会で発表し、地区全体に呼びかけました。まだ場所は特定されないまま、2004年夏には「世界遺産」に登録される高野・熊野の参詣道周辺で、未来に残せる記念事業をと夢を語ったものでした。企画は極めて大がかりなもので、次のような内容でした。

「テーマ」高野・熊野の世界遺産の景観創造に手を貸し、「ロータリー100年の森林（モリ）を創ろう。

「趣旨」「紀伊山地の霊場と参詣道」が、ユネスコ世界遺産に登録される中でその周辺のバッファー・ゾーンに世界遺産を支える豊かな森林資源を育成し、未来の孫子の代への遺産として残す。

「内容」イ)一人一木運動。1本当り一口10,000円。

(クラブ単位・個人単位・ご家族形式を問わず参加)

ロ)樹木は、山桜(春の花)ケヤキ(新緑)カエデ(紅葉)シバグリ(栗拾い)中心で、自然林を作り上げる。

ハ)期間は2年間。2005年6月迄(但し延長も可能)

ニ)規模は、3ヘクタール、3,000本、3,000万円基金

ホ)協働パートナーには、(財)和歌山県緑化推進会にお願いし、種々の支援を頂く

「経緯」以上のような計画の中、世界遺産候補として登録される「霊場・高野山」と「参詣道・高野山町石道」に近い地域が最適地と考え、鋭意探索を続けました。

幸運にも国有林3ヘクタールがみつき、林野庁・森林

管理署・金剛峰寺・和歌山県・緑化推進会等のご協力を得て、お借り出来ました。ガバナー・地区社会奉仕委員会・地元の楠PDG・高野山RC会長にも出向いて頂き雨の中現地の確認もすませました。

その後活動は順調に進み、RIに登録したのは60クラブ、7月現在1800万円、1800本分の募金高に積み上がりました。

県緑化推進会とも、今後「100年間の協働作業」の協定書の調印式をすませています。

「第一回記念植樹祭」2004年5月9日小雨の中、現地高野山で、木村和歌山県知事をはじめ高野町長など関係の皆様、ロータリアンとその家族、総勢250名で第一回目の式典が行われました。100年後に夢を馳せつつ、1本ずつの記念植樹を行い、記念碑銘板の除幕式もおごそかに挙行されました。

とりあえず1000本1ヘクタールを埋めつくし、今期さらに2000本を植樹する予定であります。

去る7月1日、中島ガバナー年度発足の日、中国で開かれたユネスコ世界遺産会議で、「紀伊山地の霊場と参詣道」は、日本12番目の世界遺産として登録されました。スペイン・サンチャゴの「巡礼の道」とともに、世界にたった二つの参詣道世界遺産の玄関口に、未来への遺産を残せたことに、2640地区として大いなる幸せと意義の深さを味わい、中島・前窪両ガバナーの先見の明に感服いたしております。

3. おわりに・・・「101委員会活動」の展望・・・

「ロータリー100年の森林」は、2640地区が60クラブをダイナミックに結集して、未来に向けて「形」に表わした「記念塔」であります。

いま一つ、新しい世紀に向けてロータリーが直面しているのは、ロータリーそのものの意義・理念・運営等について本質的・体系的な論議を経て、創り出さねばならないクラブの活性化であります。

いわばソフトウェアの領域であり、「101委員会」に

よりその糸口を見出し、改革を進めたいと思います。
 そのような試練をくぐって、活性化された個別クラブが
 ささやかで、地味な記念奉仕事業に取り組むのもまた意
 義深いものと考えます。
 今期後半、ロータリーの内面・精神面に触れた2640
 地区の活動を、もう一度成果として報告出来れば素晴ら
 しいことと考えています。

以 上

「100年の森林参加60クラブ名」

藤井寺	藤井寺しゅら	御 坊	御坊南	羽曳野
羽 衣	橋本紀ノ川	橋 本	岩 出	和 泉
泉大津	貝塚コスモス	岸和田	岸和田東	粉 河
高野山	那智勝浦	美 原	串 本	大阪金剛
堺	堺泉が丘	堺 東	堺 中	堺 西
堺清陵	堺フェニックス	堺泉北	堺東南	泉 南
新 宮	田辺はまゆう	白 浜	太 子	高 石
田 辺	和歌山アゼリア	田辺東	富田林	富田林南
打 田	和歌山城南	和歌山	和歌山東	和歌山北
和歌山南	和歌山中	和歌山西	和歌山東南	堺 南
御坊東	堺おおいずみ	泉佐野	岸和田北	岸和田南
松 原	りんくう泉佐野	阪 南	忠 岡	有 田

Centennial Countdown



WINTER 2004

SPECIAL EDITION

Creating a Rotary Centennial Forest

At the Entrance to the Koya Pilgrimage Route designed the World Heritage

60 Clubs of District 2640 (Osaka and Wakayama)



Last year District 2640's then governor Kanji Maekubo and this years current governor Jiichiro Nakajima launched three close-knit, well devised Centennial Projects to run concurrently over a period of two years. Two of these projects will begin in earnest in the near future, but the Rotary Centennial Forest project is now in its final stages nearing completion, thanks to the dedicated efforts of 60 clubs in the district. The following is a brief description of this project.

The Rotary Centennial Forest Project was announced at the District Assembly in April 2003,

and all clubs were called upon for support. A site for the proposed forest was not decided on until the Koya-Kumano Pilgrimage Route area, scheduled to be designated the World Heritage Site in the summer of 2004, presented us with the opportunity to do a commemorative project that would be remembered by future generations.

We began a "Every Person, Every Tree" campaign whereby each individual, family or club would contribute 10,000 yen (approx. 90 dollars) to a fund to be used to purchase the trees. We selected mountain cherry (blossoms in

spring), zelkova (early summer green), maple (autumn colors), chestnut (gathering nuts), etc. with the idea of creating a forest that people can enjoy every season throughout the year.

The project is scheduled to last two years from July 2003 to June 2005, but we are considering an extension if the need arises. The area includes nearly seven and a half acres, and our goal is 3,000 trees, or 30 million yen (approx. 270,000 dollars). We asked the Wakayama Society for Promoting Reforestation to join us as a partner in hopes of support from a specialist point of view.

Subsequently the 60 supporting clubs each has resistered their centennial community project and the tree purchasing fund has kept growing as scheduled.

On May 9 2004 the initial ceremony held at the Koya Mountain site in a gentle rain fell. The 250 participants included Wakayama Prefecture governor Kimura, the mayor of Koya and other officials, together with Rotarians and their families, who planted the commemorative trees one at a time in pursuit of a dream that spans the next hundred years. The day's events also included the unveiling of a commemorative plaque.

Our first objective is to cover a third of the site with 1,000 trees, with the remaining 2,000 trees to be planted within the year. As of this



Kii Mountains Range and the Cultural Landscapes that Surround Them" was officially designated as Japan's twelfth World Heritage Site. We of District 2640 feel the joy, and also the deep significance, of giving to posterity a lasting treasure to mark the

writing (July 2004), our tree fund amounts to 1,800 trees or 18 million yen (approx. 160,000 dollars).

On July 1, the first day of the present district governor Nakajima's term, at the UNESCO World Heritage convention held in China, "Sacred sites and Pilgrimage Routes in the

entrance to this World Heritage Site, which incidentally is one of only two pilgrimage routes receiving such status, the other being the one in Santiago, Spain.

Katsuhito Kawamura

Member of Rotary-no-Tomo Editorial Committee (District 2640)